

リーダー☆インタビュー



三光産業株式会社 取締役社長

堀 武大 氏



三光産業株式会社



所在地 入間郡越生町越生東3-11-2
代表者 代表取締役会長 堀 武美 氏
取締役社長 堀 武大 氏
事業内容 精密板金、設計、銅帯加工、溶接
塗装、メッキ、組み立て 等
資本金 2,000万円 従業員数 145名
T E L 049-292-3232
<http://sanko-sangyo.jp>



「お客様の手間を引き受け、より完成品に近い製品の提供をしていきたい」と話す堀社長

各種装置や設備の完成品製造のパイオニアとして、設計から精密板金、塗装、配線、組み立てまで一貫して対応する同社の堀社長に話を伺いました。

★貴社の概要について、教えてください。

堀 1944年創業で精密板金加工を主業務としています。現在では、携帯電話基地局用電源装置、EV(電気自動車)充電設備、駅のホームドアといった、現代社会のインフラを支える設備や、産業用ロボット、業務用電気給湯器、加湿器、空気清浄装置など幅広く手掛けています。駅のホームドアでは、JR九州、大阪メトロ、東武線、相鉄線、東急電鉄等の路線を手掛けており、引き合いが年々増えています。また、EVの普及とともに充電設備の受注も急増しており、今後さらに重要な役割を担っていくと自負しています。その他、形状を問わずにきれいな仕上がりとなる自社製品のバリ取り機「バートル」を販売しており、多くの製造業様に利用いただいている。

社員の平均年齢は30代と若く、約2割が女性で

す。新卒の女性社員が実務経験を積み、たった数年で溶接部門のリーダーになるなど、製造現場でも女性が活躍しています。また、インドネシアやベトナムなど5カ国から技能実習生等を受け入れ、国籍や性別を問わず多様な人材が活躍できる環境を整えています。その取り組みが評価され、「埼玉県多様な働き方実践企業(プラチナ)」にも認定されました。社員の育児・介護・看護などライフステージに応じた働き方をサポートし、社員のやりがいと働きやすさを両立する企業風土づくりを推進しています。

★貴社の強みは何ですか？

堀 当社の強みは、完成品まで責任をもって手掛ける一貫生産体制と、それを支える提案力と技術力です。例えば、創業当初から手掛けている消火器ユニットでは、本体や格納ケースだけでなく、本体に消火剤を充填するところまで対応しています。これはお客様の手間を大きく省くことになり、満足度向上にもつながっています。

「お客様に喜ばれ、選ばれる会社」であり続けるために



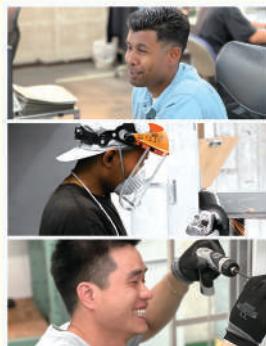
活躍する女性たち



真剣に取り組む外国人従業員



3年で溶接リーダーに



創業80周年を祝う記念パーティー

設計提案力も強みの一つです。お客様から図面をいただいたてつくるだけでなく、同等スペックを保ちながら、コストパフォーマンスを上げ、屋外設備においては、より耐久性・防水性に優れた構造にするなど、長年の経験から培った板金や溶接の技術と設計ノウハウをもとに最適な提案を行っています。

そして、生産設備の充実と人員体制の厚みも大きな強みです。例えば小型電源装置では月産1,000台の量産にも柔軟に対応できます。

★管理アプリを自作しているのですね。

堀 社内の情報共有や業務効率化のために、コードツールを活用した管理アプリを自作しました。社内予定から文書管理、勤怠、受注、出荷、売り上げ、生産、品質データなどを一元管理しています。紙ベースだった業務をタブレット端末で入力・集計することで、現場の状況がリアルタイムで把握できるだけでなく、社員同士の情報共有も飛躍的にスピードアップしました。

また、新規案件の図面もオンラインで各部門が同時に確認できるようになり、設計段階から「加工の難易度」や「品質リスク」などの課題をすぐに洗い出せて、お客様へのフィードバックのスピードと精度も向上しました。

★今後の展開・抱負は

堀 私たちが得意とするボリュームゾーンの受注に特化し、お客様の手間を可能な限り引き受け、顧客満足度を高めるとともに、完成品メーカーとしての地位確立を目指します。「三光産業に任せれば、ここまでやってくれる」という安心感を、お客様へ提供していきたいと考えています。

今後ますます、ロボットやAIが活躍する世の中になると思います。それらを積極的に取り入れ、生産性や作業効率を上げるとともに、社内コミュニケーションにも活用していきたいと思います。

私たちはこれからも、「お客様に喜ばれ、選ばれる会社」であり続けるために、変化を恐れず挑戦し続けていきます。

(敬称略)